



SDGsの達成に向けた FAOの貢献と日本の役割

日本担当FAO親善大使を迎えてー

募集は終了しました

2019年3月12日(火) 16:00~19:15 (開場 15:30)

於: ホテルメトロポリタン エドモント (住所: 東京都千代田区飯田橋3-10-8)

2015年に国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)は、国際社会で高い注目を集めています。国連食糧農業機関(FAO)は、食料・農業分野の国連専門機関として、その実現に大きな役割を担っており、日本は世界第2位の分担金拠出でFAOの活動を支えています。このイベントでは、SDGsの達成に向けてFAOがどのような貢献を果たしているのか、また日本の官民はFAOとの協力の下でどのような役割を果たしているのかについて、FAO親善大使による講演とパネルディスカッションを通じてご紹介します。

レセプションでは、SDGs目標12のターゲットの1つ、食品ロス削減にスポットを当て、“フードロス削減をテーマにしたbuffet”を体験いただけます。また、レセプション会場では、国際機関への就職に興味がある参加者を対象に、外務省国際機関人事センター職員による支援プログラムの説明及び相談を行うブースを設置いたします。

SDGsやFAOの活動、国際機関での勤務に興味のある社会人、学生など、幅広い層からの参加をお待ちしております。

プログラム (使用言語: 日本語)

16:00 開会 挨拶 - 阿部俊子外務副大臣

<第一部>

16:05 講演 - 国谷裕子 日本担当FAO親善大使
「SDGsが問い掛けるもの」

16:15 パネルディスカッション (パネリスト: 発表順)

- ・国谷裕子 日本担当FAO親善大使
- ・チャールズ・ポリコ FAO駐日連絡事務所長
- ・山田英也 国際協力機構(JICA) 上級審議役
- ・蔵谷恵大 農林水産省 国際農業機関調整官
- ・今仲保宏 日本電気(株) グローバル事業推進本部
- ・高林宏樹 外務省 経済安全保障課長 (モデレーター)

<第二部>

17:20 講演 - 中村勝宏 日本担当FAO親善大使
「親善大使として、料理人として、いかに食品ロスに取り組むか」

17:45 レセプション

「フードロス削減をテーマにしたbuffet料理」
(国際機関への就職相談ブースを設置)

19:10 閉会挨拶

- チャールズ・ポリコ FAO駐日連絡事務所長

日本担当FAO親善大使のご紹介



国谷 裕子 氏

大阪府出身。米国・ブラウン大卒業。NHK「7時のニュース」英語放送の翻訳・アナウンスなどを経て、1989年からNHK衛星放送「ワールドニュース」キャスター、93年から2016年まで23年間、NHK「クローズアップ現代」のキャスターを担当した。16年からSDGsの取材、啓発活動を行なっている。17年5月から日本担当FAO親善大使を務める。



中村 勝宏 氏

鹿児島県出身。国内で修業後、1970年に渡欧。パリにある「ル・ブールドネ」グランシェフ在任中の79年、日本人初のミシュラン1つ星を獲得。帰国後、ホテルエドモントの開業と同時にレストラン統括調理長に就任。2008年の洞爺湖サミット総料理長を経て、16年、日本人の料理人で史上2人目となるフランスの農事功労章最高位コマンドゥール受勲。17年、日本担当FAO親善大使就任。18年から日本ホテル株式会社特別顧問統括名誉総料理長。後進の育成、食育の推進、フランス料理を通じた社会貢献など、様々な活動に精力的に取り組んでいる。

参加登録方法: Eメール (mofa-fao-events@mofa.go.jp 宛) に、お名前・ご所属・Eメールアドレス・電話番号を記入してお送りください。
(締切: 3月8日) ※お申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

お問い合わせ先: 外務省経済局経済安全保障課 TEL: 03-5501-8339 (担当 川井田、原)

